

< 記入例 >

ボイラー取扱実務経験証明書

(特級・一級) ボイラー技士免許申請用

氏名	〇〇 〇〇	住所	都道府県	市郡	区
生年月日	昭和30年 □月 ×日生		熊本	熊本	二の丸 XXXX
現在所持しているボイラー技士免許		(一級・ <u>二級</u>) ボイラー技士免許			
		[免許取得日] (昭和・平成) XX年△月□日			
取扱経験の内容	取扱ったボイラーの種類		炉筒煙管式		
	用途	型式	伝熱面積	最高使用圧力	ボイラー検査証
	暖房専用	貫流・ <u>蒸気</u> ・温水	32 m ²	1.5 MPa [kgf/cm ²]	交付機関名 〇〇労働基準 監督署
	上記以外	貫流・蒸気・温水	m ²	MPa [kgf/cm ²]	番号 第 XXXX 号
ボイラー取扱作業主任者として選任されている場合		<u>昭和</u> 平成 XX年 □月 ×日 選任			
従事した期間	1 ボイラー取扱いの経験		<u>昭和</u> 平成 XX年 □月 ×日から		
	2 <u>ボイラー取扱作業主任者</u> としての経験		期間 <u>昭和</u> 平成 △△年 〇月 〇日まで 〇年 〇月 (合計)		
<ul style="list-style-type: none">● 該当する番号を○で囲むこと。● 従事した期間は、現在所有しているボイラー技士免許証の交付日以降の経験について記載すること。● 従事した年数は、実際に従事した期間を合計し、記入すること。● 暖房専用ボイラーのみを取扱っている場合は、経験年数1年を6ヶ月として取扱うこと。					
上記の記載内容については、相違ないことを証明します。					
平成 2 年 △ 月 〇 日					
事業場所在地		熊本市大江〇丁目×-〇 電話 096 (XXX) 〇〇〇〇			
事業場名		株式会社 〇〇 産業			
事業者職・氏名		代表取締役 〇〇 〇〇 (印)			

備考 1. 表題の () 内は、該当するものを囲むこと。

2. 交付機関には、〇〇労働局、〇〇労働基準監督署があること。

3. 「事業者職・氏名」の欄は、記名押印することに代えて、事業者が自筆により署名をすることができること。